

国際理解教室（2025.10.15） ～茨木市立葦原小学校～

2025 年 10 月 15 日（水）、茨木市立葦原小学校・第二音楽室において、国際理解教室が開催されました。対象は 1 年生～6 年生なのですが、1～3 年生くらいの低学年が多かったようです。時間は、5 時間目終了後の 14 時 55 分から 50 分間でした。

参加した外国人講師は 3 名、タイ出身の M さん、オランダ出身の T さん、ミャンマー出身の K さんです。この 3 名の方々の学習をサポートしている日本人支援者の皆様も一緒に。



タイ出身の M さん

スライドを使って、タイ語での挨拶や数の数え方を教えてくれました。また、挨拶は、誰に挨拶をするのかによって、頭の高さが変わるとのことです。

また、タイ衣装を少し持ってきてくれて、生徒たちの肩にかけたり、体に合わせたりしてくれました。

最後は、数の数え方と挨拶を、簡単な歌にして教えてくれました。

オランダ出身の T さん

来日して数年とのことですが、上手な日本語で発表してくれました。自己紹介の後、オランダの挨拶・お金・天気・文化・国旗・有名人のことなどを話してくれました。

挨拶について、生徒みんなで言う練習をしたのですが、生徒たちにとっては発音が少し難しかったようです。

オランダの人は、背が高い人が多く、またチーズが大好きなようです。





ミャンマー出身のKさん

ミャンマーでは、皆さんがお坊さんを大切にしているようです。お坊さんに食べ物をあげて、自分自身の徳を上げるようです。

「ティンジャン」と呼ばれる水の祭り（夏祭り）について話してくれました。

また、挨拶のしかた、学校のこと、食べ物についても教えてくれました。

16才までは学校の制服があるようです。

挨拶は「ミンガラバー」と呼ばれ、胸の前で手を合わせてします。

最後は、「ファンコン（PHANKHON）」と呼ばれる遊びを紹介してくれました。

遊び方を説明した後は、小学校の生徒たちと一緒に「遊ぶ時間！」です。



今回同行してくれた日本人支援者の中には、初めて国際理解教室に参加される方、以前に参加したことのある方の両方がいらっしゃいました。

行く機会の少ない小学校を訪れて、生徒さん達との関わりを見ていて、支援者の皆様方も楽しんで頂けたようです。

